

稲田の子



稲田いっぼん～家庭・地域と一つになって歩む学校

北海道シェイクアウト～安全のための1・2・3



9月6日(金)、胆振東部地震からちょうど1年のこの日の10時、「北海道シェイクアウト」という訓練が実施されました。シェイクアウトはアメリカで始まり、世界中で行われている防災訓練です。本校は時間割等の関係から、可能な学年が参加して「安全のための1・2・3」を実行しました。1「まず低く」2「頭を守り」3「動かない」という原則は、どこの場所においても自分の身を守るために役立ちます。地震による人的被害の多くは揺れによる家具等の倒壊、落下物等による負傷です。災害はいつ起きるかわかりません。「ケガをしない」ことを目標にこの行動を体得してほしいと思います。

避難訓練を行いました

このほかにも本校では8月26日に、集団下校のための集合訓練、9月3日に地震を想定した休み時間の避難訓練を行っています。児童への予告なく行われたこの訓練でしたが、各自が過ごしていた場所からグラウンドへと落ち着いて避難でき、とても立派でした。



ばらばらな場所から避難した子どもたち

売買川たんけんたい

9月10日、3年生は総合的な学習の時間に売買川を探検しました。今年は株式会社北開水工コンサルタントのご協力により水生生物等を採取して水質を評価する学習を行いました。子どもたちは目を輝かせて川での活動を楽しみ、専門的なご支援を受けて、虫や魚の様子を観察することができました。

こうした学びを通してふるさと自然に親しみ、美しい環境を守っていこうという気持ちが育つことを願います。



ライフジャケットで完全装備



観察も本格的



写生会

各学年で写生会が始まりました。じっくり一つの絵画を仕上げるのは年に1回です。2年生は消防自動車に来ていただき、細部をよく見て大きな車を描きました。学習発表会に全学年で展示します。どうぞお楽しみに。

がんばる稲田っ子



豊橋杯からU-10サッカーサマーリーグ
優勝 稲田サッカー少年団



第十五回全国小学生バレーシニア選手権決勝大会
サンリオピューロランドきょうとまぐいぐま賞
六年 梶 あかり

全国大会出場おめでとう!

PTA社会部講演会

9月5日(木) 19:00より、PTA社会部主催の講演会が開かれました。講師は帯広畜産大学人間科学研究部門の渡邊芳之教授で「親子のコミュニケーション～じょうずに聴く、ほめる、しかる～」と題したご講話をいただきました。「話し手の感情をコピーして聴く」「60秒以内にほめる」「3回叱ってダメならしかり方を変える」など、具体的でわかりやすいお話しに、集まった保護者の皆さんが大きくうなずく姿が見られました。親子だからこそ大切なコミュニケーション。傾聴・受容そしてそれを伝えるサインが大切なことを学びました。



渡邊教授のお話にはヒントがいっぱい!

ゴミひろい 通学路には毎日たくさんのゴミが落ちており、毎日ふれパトの方々が拾ってくれています。児童会のボランティア委員会もさける公園のゴミ拾いをしてくれました。自分たちが住む地域を大切にする意識を、大人が手本となつて育てたいです。



10月の主な行事予定

1	火	ALT(4・5年) ベルマーク作業③ 安全点検日 Pあいさつ運動4の1
2	水	Pあいさつ4の2
3	木	帯教研一斉部会(5時間授業) Pあいさつ4の3
4	金	KTSBA誓いの日 Pあいさつ5の1 農高じゃがいも収穫体験(3年)
5	土	いなっこワールド
7	月	名前の日 Pあいさつ5の2 給食費口座再引き落とし日
8	火	Pあいさつ5の3 読み聞かせ(ぐりとぐら)
9	水	Pあいさつ6の1
10	木	ALT(3・6年) Pあいさつ6の2
11	金	KTSBA誓いの日 Pあいさつ6の3 ALT(3・4年)
14	月	体育の日
15	火	ALT(3・5年)
16	水	学習発表会総練習
18	金	学習発表会
19	土	稲田っ子を育む会(バレーンアート)10:00
21	月	アニマルパスウェイ贈呈式 いなっこワールド
22	火	即位礼正殿の儀
24	木	ALT(4・5年) 図書ボランティア
25	金	KTSBA誓いの日 児童会① ALT(3・4年) 給食費口座引き落とし日
26	土	いなっこワールド
28	月	給食費納入日(低)
29	火	給食費納入日(中) 特別支援合同学習発表会
30	水	給食費納入日(高)
31	木	認証式 給食費納入日(予)

異学年と育てる力

9月3日(火)に全校集会が開かれました。570名もの全校児童が集まって行った「学校クイズ」や「猛獣狩りに行こうよ」の集団遊びは、集会委員会のがんばりで大変楽しいものとなりました。異学年と同じグループになるなどの約束のおかげで、普段みられないふれあいもありました。音楽クラブの発表もすばらしく、異学年とのかかわりの中で育てる力を改めて感じました。

